

再 評 価 調 書

I 事業概要					
事業名	道路事業				
地区名	一般県道茶臼山線 <small>ちやうすやま</small>				
事業箇所	北設楽郡豊根村坂宇場地内 <small>さかうば</small>				
事業のあらまし	<p>一般県道茶臼山線は、北設楽郡豊根村坂宇場地内の延長 5.7km の路線であり、一般国道 151 号と観光地である茶臼山高原を結び、三河山間地域の観光や暮らしを支える重要な路線である。</p> <p>当該事業区間は、急カーブが連続しており道路線形も悪く、幅員狭小で地形も急峻であることから、山間地域における観光地等の拠点間の移動や、日常生活の移動の妨げとなっている。</p> <p>このため、線形不良区間における自動車の安全性・走行性の向上を主な目的として、一般県道茶臼山線のバイパス整備を実施するものである。</p>				
事業目標	<p>【達成（主要）目標】</p> <p>(1) 山間・離島対策（線形不良区間における自動車の安全性・走行性の向上）</p> <p>【副次目標】</p> <p>—</p>				
計画変更の推移		事前評価時 (2017 年度)	再評価時 (2021 年度)	変動要因の分析	
	事業期間	2017 年度 ～2023 年度	2017 年度 ～2026 年度	用地交渉の難航	
	事業費（億円）	8.0	8.0		
	経費内訳	工事費	7.0	7.0	
		用補費	0.5	0.5	
その他		0.5	0.5		
事業内容	バイパス整備 延長 0.6km 幅員 7.5m 2 車線	バイパス整備 延長 0.6km 幅員 7.5m 2 車線			
II 評価					
①事業の必要性の変化	1) 必要性の変化	<p>【事前評価時の状況】</p> <p>(1) 山間や離島などの暮らしを支える基盤整備 線形不良や幅員狭小のため、観光地等の拠点間の移動や、日常生活の移動の妨げとなっているため、円滑な交通の確保が必要である。</p> <p>【再評価時の状況】</p> <p>(1) 山間・離島対策 線形不良や幅員狭小のため、観光地等の拠点間移動や、日常生活の移動の妨げとなっているため、依然として必要性は高い状況である。</p> <p>【変動要因の分析】</p> <p>依然として安全・円滑な交通に支障をきたしており、引き続き整備の必要性がある。</p>			
	判定	B	<p>A： 事業着手時に比べ必要性が増大している。</p> <p>B： 事業着手時に比べ必要性にほとんど変化がない。</p> <p>C： 事業着手時に比べ必要性が著しく低下している。</p>		

		<p>【理由】</p> <p>線形不良区間における自動車の安全性・走行性の向上の観点から、事業の必要性に大きな変化がないため。</p>																																																																																																																																	
②事業の進捗状況及び見込み	1) 進捗状況	<p>【事業計画及び実績】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>2017 ～ 2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> <th>2023</th> <th>2024</th> <th>2025</th> <th>2026</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="6">工 種 区 分</td> <td>調査・設計</td> <td colspan="2">←→</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td rowspan="6"></td> </tr> <tr> <td>用地補償</td> <td colspan="4">←→</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>工事</td> <td colspan="7">←→</td> </tr> <tr> <td>・土工</td> <td colspan="6">←→</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・擁壁工</td> <td></td> <td colspan="4">←→</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・舗装工</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>←→</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">事業費 (億円)</td> <td>当初計画</td> <td>6.0</td> <td colspan="3">2.0</td> <td colspan="3"></td> <td>8.0</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>1.6</td> <td colspan="6"></td> <td>1.6</td> </tr> <tr> <td>今回計画</td> <td>1.6</td> <td colspan="5">6.4</td> <td></td> <td>8.0</td> </tr> </tbody> </table> <p>【進捗率】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">これまでの計画に対する達成状況</th> <th colspan="2">全体進捗状況</th> </tr> <tr> <th>計画 【①】</th> <th>実績 【②】</th> <th>達成率(%) 【②÷①】</th> <th>計画 【③】</th> <th>進捗率(%) 【②÷③】</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>延長(km)</td> <td>0.6</td> <td>0.0</td> <td>0</td> <td>0.6</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>事業費(億円)</td> <td>6.0</td> <td>1.6</td> <td>26</td> <td>8.0</td> <td>20</td> </tr> <tr> <td> 工事費</td> <td>7.0</td> <td>1.1</td> <td>14</td> <td>7.0</td> <td>14</td> </tr> <tr> <td> 用補費</td> <td>0.5</td> <td>0.1</td> <td>20</td> <td>0.5</td> <td>20</td> </tr> <tr> <td> その他</td> <td>0.5</td> <td>0.5</td> <td>100</td> <td>0.5</td> <td>100</td> </tr> </tbody> </table> <p>※用地進捗率(面積ベース)は、約80%</p>			2017 ～ 2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	合計	工 種 区 分	調査・設計	←→								用地補償	←→							工事	←→							・土工	←→							・擁壁工		←→						・舗装工							←→	事業費 (億円)	当初計画	6.0	2.0						8.0	実績	1.6							1.6	今回計画	1.6	6.4						8.0		これまでの計画に対する達成状況			全体進捗状況		計画 【①】	実績 【②】	達成率(%) 【②÷①】	計画 【③】	進捗率(%) 【②÷③】	延長(km)	0.6	0.0	0	0.6	0	事業費(億円)	6.0	1.6	26	8.0	20	工事費	7.0	1.1	14	7.0	14	用補費	0.5	0.1	20	0.5	20	その他	0.5	0.5	100	0.5	100
			2017 ～ 2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	合計																																																																																																																									
	工 種 区 分	調査・設計	←→																																																																																																																																
		用地補償	←→																																																																																																																																
		工事	←→																																																																																																																																
		・土工	←→																																																																																																																																
		・擁壁工		←→																																																																																																																															
		・舗装工							←→																																																																																																																										
	事業費 (億円)	当初計画	6.0	2.0						8.0																																																																																																																									
		実績	1.6							1.6																																																																																																																									
今回計画		1.6	6.4						8.0																																																																																																																										
	これまでの計画に対する達成状況			全体進捗状況																																																																																																																															
	計画 【①】	実績 【②】	達成率(%) 【②÷①】	計画 【③】	進捗率(%) 【②÷③】																																																																																																																														
延長(km)	0.6	0.0	0	0.6	0																																																																																																																														
事業費(億円)	6.0	1.6	26	8.0	20																																																																																																																														
工事費	7.0	1.1	14	7.0	14																																																																																																																														
用補費	0.5	0.1	20	0.5	20																																																																																																																														
その他	0.5	0.5	100	0.5	100																																																																																																																														
2) 未着手又は長期化の理由	<ul style="list-style-type: none"> ・用地取得に不測の日時を要したため、完了予定年度を2026年度に変更する。 																																																																																																																																		
3) 今後の事業進捗の見込み	<p>【阻害要因】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・用地交渉の難航 <p>【今後の見込み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・用地交渉が難航している箇所については、所定の手続きを踏むことによって取得できる見通しがあり、2026年度までに整備が完了する予定である。 																																																																																																																																		
判定	<p>B</p> <p>A：事業は順調であり、計画通り確実な完成が見込まれる。 B：次のいずれか（該当する項目に「○印」を付ける）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまで事業は順調である。今後は多少の阻害要因が見込まれるものの、一定の期間等を要すれば、解決できる見通しがあり、ほぼ計画通りの完成が見込まれる。 ・これまで事業が長期化していたが、事業期間を延長したことにより、今後は阻害要因がなく、ほぼ計画通りの完成が見込まれる。 <p>○これまでの事業長期化により、事業期間を延長した。今後も多少の阻害要因が見込まれるが、一定の期間等を要すれば、解決できる見通しがあり、</p>																																																																																																																																		

		<p>ほぼ計画通りの完成が見込まれる。 C：阻害要因の解決が困難で、現時点では、事業進捗の目処がたたない。</p>
		<p>【理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・阻害要因については、所定の手続きを踏むことによって解決できる見通しがあり、2026年度までに整備完了が見込まれるため。
<p>Ⅲ 対応方針（案）</p>		
	<p>継続</p>	<p>中止：上記①～③の評価で一つでもC判定があるもの。 継続：上記以外のもの。</p>
<p>Ⅳ 再評価実施の有無と主な評価内容</p>		
<p>■対象（事業完了後5年目） <input type="checkbox"/>対象外</p> <p>【事業完了後5年を越えて実施する理由・対象外の理由】</p> <p>—</p> <p>【主な評価内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交通量（全車、大型車）、旅行速度、混雑度 		